

倭文と東国の静御前伝承

—傀儡子と羽衣伝説、白鳥伝説、オシラサマ—

来聴歓迎、聴講無料。映像の上映は会場のみです。
映像の配信は行いませんので、ぜひご来場ください。

日時：2026年11月7日（土）9:30-17:00

会場：大東文化会館（東武東上線「東武練馬」駅下車2分）

ハイブリッド開催 Zoom <https://zoom.us/j/98156120201>

ミーティング ID: 981 5612 0201 パスコード: 950365

◆午前の部(ホール・K403)

9:30 開会の辞 大東文化大学学長 高橋 進

9:40-10:00 日本語学科学生による「日本文化特別演習」成果発表

■朗読劇 宮澤賢治『雪渡り』（指導）菅野友巳・藏中しのぶ

日本語学科1年：加藤楓奈・石関星愛・牛山匠・平井みさき

椎名翔大・白井颯・猪木陽斗・佐藤姫花瑠

ジガンテ・ジュリアーナ・ディレッタ（イタリア）、タン・ピュシン（ミャンマー）

10:05-10:20 日本語学科教員の研究活動と地域連携・高大連携

映像で「どうなんむぬい（与那国語）」の記憶を残す

日本語学科特任准教授 藤田ラウンド幸世

■研究発表（ホール）司会・本学教授 須田義治

10:30-11:00 琉球諸語の手法指示語の歴史的成立 日本語学科助教・語学教育研究所研究員 サルバトーレ・カルリノ

11:05-11:35 LINEにおけるほめの談話的特徴

—友人間で行われるトークに着目して—

日本言語文化学専攻博士課程前期課程2年 遠藤花菜

11:40-12:10 日本語の終助詞「ね」と中国語の語気助詞の対応関係について

日本言語文化学専攻博士課程後期課程1年 沈 燕

■研究発表（K403）司会・本学教授 上村圭介

10:30-11:00 日本語学習者向け漢字教材の類型化

日本言語文化学専攻博士課程後期課程3年 サイヤリン・ブッタソーン

11:05-11:35 学部留学生を対象にしたディクトグロスの実践と課題

—節認定単位を用いた作文分析からの示唆—

日本言語文化学専攻博士課程前期課程2年 中村征嗣

11:40-12:10 即興描写タスクにおけるイントネーション

—トランス女性1名によるケーススタディー—

日本言語文化学専攻博士課程後期課程3年 濱岡佑帆

◆午後の部（ホール）国際シンポジウム「倭文と東国の静御前伝承—傀儡子と羽衣伝説、白鳥伝説—」

13:00-13:20 倭文と静御前伝承を追って

コーディネーター・司会 日本言語文化学専攻主任 藏中しのぶ

■大和高田の白拍子舞

（指導）日本語学科非常勤講師 花柳楽彩

「口上」白拍子錦、「あそびをせんとや」白拍子雅、「しずやしず」白拍子雅、「よしのやま」白拍子錦

13:20-13:50 東国の静御前伝承、白鳥伝説—地元・茨城県古河の伝承から—

本学日本語学科教授 飯塚秀樹

13:50-14:50 定住から遊行へ—1970年代の記録映画から見る津軽と遠野のオシラサマ考—

映画監督・映像民俗学・人類学 北村皆雄

■ドキュメンタリー映画「津軽じょんがら女考・オシラサマ」「遠野物語幻想」（50分）

14:50-15:05 休憩

15:05-16:05 傀儡子の伝承・天翔る衣となったヤマトタケル—羽衣伝説とタケハヅチ、羽衣、天衣—

神戸女子大学名誉教授 鈴鹿千代乃

■筑紫舞（傀儡子舞）「羽衣—天衣降臨の舞—」（15分）

神事芸能研究会 金井由美子

16:15-16:55 パネル・ディスカッション

司会・藏中しのぶ／パネリスト 飯塚秀樹・北村皆雄・鈴鹿千代乃・花柳楽彩

アブサラーインド神話・芸術・文化における天上の女性像—

インド ヴィスヴァ・バーラティ大学助教・語学教育研究所客員研究員 アルピタ・ポール

地中海の伝統における衣服の役割—ギリシア・ローマ神話、キリスト教を中心に—

イタリア ナポリ東洋大学アジア学部准教授・本専攻修了（博士・日本言語文化学）アントニオ・マニエーリ

台湾政治大学の「倭文」研究、大学院の共同指導に向けて

台湾・台湾政治大学外国語文學院院長・日本語文学系教授 鄭家瑜

17:00 閉会の辞

日本語学科主任 田崎敦子

主催：大東文化大学大学院外国語学研究科日本言語文化学専攻

共催：大東文化大学外国語学部日本語学科・外国語学会日本語部会

語学教育研究所・東洋研究所・国際交流センター・地域連携センター・入学センター

後援：国際交流基金・大和高田市文化振興課・古河市教育委員会



JAPAN FOUNDATION
国際交流基金